スポーツ報知　２０１５年６月３日掲載

報知新聞　2015年(平成27年) 6月3日(水曜日)　スポーツ報知

部活チーム快進撃!!春王者・八王子桑都に挑む

東京都市大付

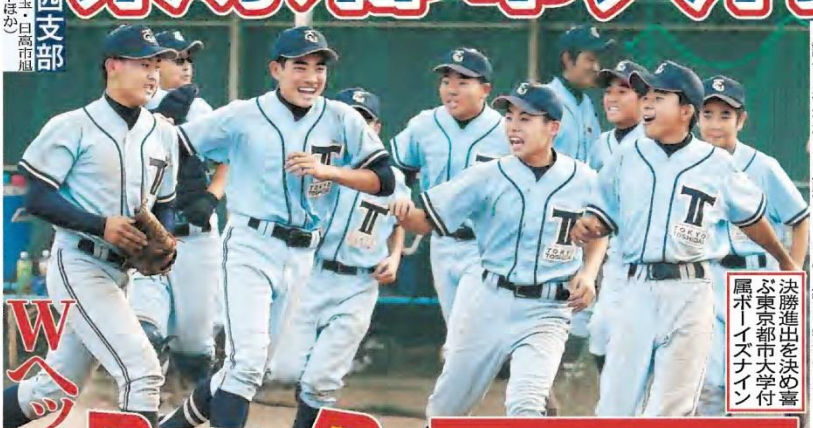
初全国王手!!

Wヘッダー連勝

第46回日本少年野球選手権大会予選

東京都西支部

関東各地で夏の全国大会予選が行われ、東京西の中学生の部で加盟7年目の東京都市大学付属ボーイズが、八王子ボーイズ、東村山中央ボーイズに連勝して決勝進出を決めた。7日、府中市民球場で中学生の部初出場を懸けて、春夏連続出場を目指す八王子桑都ボーイズと激突する。神奈川では、2回戦11試合が行われA、B両ブロックの8強が出そろった。



決勝進出を決め喜ぶ東京都市大学付属ボーイズナイン

▽準々決勝（5月31日・埼玉・日高市旭ケ丘グラウンドほか）

東京都市大学付属ボーイズ　002 140 4　11
100 000 1　2
八王子ボーイズ　5 14
（都）桑原、平田、大村―松岡
（八）織田、野中―川合
■冨田、平田（以上都）加茂下（八）
■細見、下田（以上都）川合、岡崎（以上八）
▽審判　東原（球）前田、本間、安藤

東村山中央ボーイズ　173 003　10
103 100　4
世田谷ボーイズ　5
（6回コールド）
（村）山口、柳田―斉藤
（世）西原、後藤、持田、日高―佐々木、梶
■岡田（村）山本（世）■河邊（村）
■吉岡、荻野（以上村）
▽審判　藤浦（球）箒本、山本、谷田部

▽準決勝
東京都市大学付属ボーイズ　230 000 2　7
100 000 0　4
東村山中央ボーイズ
（都）桑原、平田―松岡
（村）河合―斉藤
■桑原、冨田、平田（以上都）塩野（村）■平田、吉海（以上都）
▽審判　青木（球）本間、伊藤、小松

打撃目覚めた

私立中学の部活チームが、地域の"野球エリート"が集まるクラブチームを押しのけて、全国大会出場にあと1勝と迫った。夢みたい。技術面より精神面での成長が大きい」と野田宏幸監督(52)、松岡泰希主将が口をそろえたように、東京都市大学付属ボーイズナインは気迫のこもったプレーを連発させて、ダブルヘッダーに連勝した。

「課題の打撃」（野田監督）でひと皮むけた。八王子戦は1点を追う3回、細見歩夢が右中間を破って二、三塁の好機をつくり、敵失による逆転を呼んだ。5回は中越え三塁打の冨田周が、暴投で生還。さらに四球などで満塁として、4番・平田鷹輔が右中間に2点打を放った。7回も平田の中越え三塁打、下田喬稀の右中間二塁打などで4点を挙げ、勝負を決めた。

東村山中央戦では見事な先制攻撃を披露。1回2死、平田の左前打で先制し、なお一、二塁として冨田の左前打で2点目だ。2回も2死から桑原光希が三塁打を放ち、吉海拓真が四球で続いた一、三塁から大村崇太、平田の連続長短打で3点を加えた。投手は準々決勝と同じ継投策で先発・桑原が3回2失点。2番手・平田は6回に1点差に迫られたものの、直後の7回、自らの長打で二、三塁打の吉海をかえし、2死一、三塁から重盗で生還。その裏は3人で締めた。

2試合計6回3失点、打っては8打数7安打7打点と投打に活躍した平田は「監督の指示で、センターから逆方向を意識してフルスイングした」と笑顔。初の決勝に向けて松岡主将は「意識せず、普段通りにプレーするだけ。失うものはありません」と冷静に話したが、その目は闘志で輝いていた。（芝野　栄一）

▶▶　投打に活躍した平田

平田8打数7安打7打点&好投!!

準決勝の1回、投ゴロで本塁を突いた走者の生還を捕手・松岡が阻止

東京都市大学付属

選手名	学年
松岡泰希	③
桑原希光	③
冨田周	③
内田大太	③
辻悠匠	③
中村太	③
高橋将	③
吉海拓	③
細見歩	③
大平崇真	③
奥廻夢	③
竹田輔	③
吉島太	③
金花智	②
工田健	②
嶋山生	②
佐藤後	②
下川翔	②
日々木貴	②
水野大	②
下足輝	②
渡田範	②
富田啓	②
田辺太	②
永野睦	②
遵鉱也	②
元稀	②
達喬	②
喬大輝	②
田賢	②
駿介	②

※学年の白抜きは主将

■この記事・写真等は報知新聞社の許諾を得て転載しています。
無断で複製等、著作権を侵害する一切の行為を禁止します。
学校法人 五島育英会